

平成29年度「事業計画と予算」を審議、決定

産業振興財団では、2月24日に理事会を開催し、新年度事業や予算の審議を行いました。

平成30年4月の明石市の中核市移行に合わせて、主な活動拠点である産業交流センターが保健所に転用（平成29年7月から改修工事開始予定）されることになりました。そのため、今後財団が実施する事業はこれまでと同様の事業展開が難しい状況となることから、事業の見直し等について検討し、平成29年度の事業計画を策定しました。



第11回理事会

た。平成29年度は、地域産業の発展につながる新たな事業の構築、貸館利用サービスの向上、次期指定管理者への応募に重点をおいた取り組みを行っていきます。

なお、財団事務局は6月中に仮事務所となる明石商工会議所6階に移転し、業務を行うこととなります。



産業交流センター

平成29年度の重点的な取組み

- 1 事業の見直しと新たな事業の構築
- 2 貸館利用サービスの向上
- 3 次期指定管理者への応募

産業交流センター 改修工事等スケジュール (予定) 随時 財団ホームページでお知らせいたします。

	H29年												H30年					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
産業交流センター				●全館閉鎖 (改修工事)									保健所開所2~5F					
	●1F展示場利用受付開始 (4月から) 但しH30年3月まで利用不可												展示場利用開始					
財 団 事 務 局				●財団事務局 仮事務所へ移転						●産業交流センター1Fに再移転								

※センターの貸館利用は平成29年4月までとなりますが、駐車場はそれ以降もご利用いただけます。

『高専&工技センターものづくり支援セミナー in 明石』を開催

—第8回目を1月25日に開催！ 企業や支援機関の関係者等110人が参加—

今回のセミナーは講演会と企業交流会の2部構成で開催いたしました。講演会では技術講演として、明石高専准教授の荘直直哉氏が木質構造物に関する耐震技術を踏まえた可能性等について、また、兵庫県立工業技術センター技術課長の原田修氏が魚皮由来コラーゲンの用途開発の取り組みについて講演されました。



シーズ等のパネル展示



毎回好評を得ている基調講演は、「大ヒットの秘密を明かす」をテーマに、累計300万丁売れ続けるヒット商品「ネジザウルス」を開発・販売している工具メーカーの(株)エンジニア（大阪市東成区）の高崎充弘社長に同商品の開発を通して得た実感的な「ヒットを生み出すコツ」をご紹介いただきました。



高崎社長は自ら発案し提唱する「MPDP」理論を展開し大ヒット商品を誕生させました。「M（マーケティング 潜在意識）、P（知的財産戦略）、D（デザイン）、P（プロモーション 広報）の4要素が大切で、特に知的財産（知財）を重視した経営に取り組んでいる。中小企業は図面通りに作る下請けにとどまらず革新的な製品を生み出すことで、グローバル市場で勝ち残れる。その時に大企業と中小企業で差が大きいのは知財についての知識と戦略である。知財について大いに学び、うまく活用してほしい。」と参加者にエールを送っていました。

参加者からは、成功することは特別の秘密でもないことが分かった。知的財産の大切さや勉強する価値を感じられた…等の意見が聞かれました。

（参考）基調講演を聞き逃された方は、高崎社長の著書『「ネジザウルス」の逆襲』（日本実業出版社刊）をご覧ください。

第2部の企業交流会には、62人の方にご参加いただき、くつろいだ雰囲気の中で参加者同士の情報交換や名刺交換などが活発に行われました。



『親子で楽しむロボット教室 高専ロボットジャンボリー』を開催

去る1月28日（土）に、明石高専・神戸市立高専との共催、日新信用金庫のご協力のもと「第17回親子で楽しむロボット教室～高専ロボットジャンボリー～」を開催いたしました。

NHKの「高専ロボコン2016」で全国ベスト4入りした明石高専ロボット（＝あさごん）を身近で見られることも手伝って、来場者は親子連れ約480名と過去最高となりました。



明石高専ロボットと神戸市立高専ロボットのエキシビジョンでは、ロボットが移動し箱を積み上げる様子を親子ともども熱心に見学されていました。また、その後のロボット操作体験イベントでは、大勢の子供たちが、高専の学生の指導を受けながら、実際にいろんなロボットの操作を体験しました。

地域の子供たちにロボットを通じて、科学やものづくりの面白さを伝えることが出来ました。

平成29年度 慶應MCC「明石夕学サテライト」前期15講演 がはじまります

東京「慶應丸の内シティキャンパス」の定例講演会『夕学（せきがく）五十講』から
年間30講演を「あかし市民図書館」でライブ中継

- 会 場：あかし市民図書館（明石駅前 パピオスあかし4F）
- 時 間：18:30～20:30
- 受講料：各回1,000円（受講回数券10,000円／11回）
- 詳 細：財団HPに掲載
- 申込・問合せ：明石市産業振興財団 TEL078-936-7917（財団HPからもお申込みいただけます）

1	4/12.水	安部 修仁	株式会社吉野家ホールディングス 会長	「吉野家の歴史から学ぶ～変える勇気と守り抜く意思～」
2	4/19.水	山田 邦雄	ロート製薬株式会社 代表取締役会長兼CEO	「真のダイバーシティに向けて」
3	4/25.火	高橋 俊介	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授	「働き方改革とワークライフ」
4	5/10.水	國田 圭作	株式会社博報堂行動デザイン研究所 所長	「行動デザイン～人を動かすマーケティングの新潮流～」
5	5/23.火	仲道 郁代	ピアニスト	「ピアノの魅力、音楽の力、芸術の力」
6	5/25.木	川野 泰周	臨済宗建長寺派 林香寺住職、精神科医	「禅とマインドフルネス～現代に求められる自己への気づき～」
7	6/ 1.木	朝倉 祐介	政策研究大学院大学 客員研究員(前ミクシィ代表取締役)	「市場経済における会社と個人のあるべき姿」
8	6/ 9.金	佐藤 優	作家・元外交官	「世界はどう変わるか」
9	6/21.水	吉川 洋	立正大学経済学部 教授、東京大学名誉教授	「人口減少とビジネスチャンス」
10	6/23.金	坂井 豊貴	慶應義塾大学経済学部 教授	「多数決ではない決め方と、多数決の正しい使い方」
11	6/29.木	石黒 浩	大阪大学大学院基礎工学研究科 教授	「アンドロイドと近未来社会」
12	7/19.水	守島 基博	一橋大学大学院商学研究科 教授	「人視点からの人材マネジメント～働く人を幸せにする企業が強くなる～」
13	7/21.金	佐山 展生	インテグラル株式会社 代表取締役パートナー、 スカイマーク株式会社 代表取締役会長、 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授	「新生スカイマークと企業再生」
14	7/26.水	佐藤 祐輔	新政酒造株式会社 代表取締役社長	「日本酒リノベーション」
15	7/27.木	服部 匡志	フリーランスの眼科医	「人間は、人を助けるようにできている」

※H29.3.1現在の予定です。都合により変更になることがあります。
※講師は東京会場で講演します。

平成27年度から開始した「明石夕学サテライト」講座は3年目を迎えます。多くのおみなさまにご参加、また、ご好評いただき、ありがとうございます。

今春からは明石市立図書館との共催により、明石駅前の再開発ビル内にオープンした「あかし市民図書館」を会場として開催させていただくことになりました。

今後も図書館と連携し、より充実した内容をお届けしてまいります。
ぜひご参加ください。



明石の元気を創りだす「起業応援セミナー2017」を開催

去る1月21日（土）、第3回目の開催となる「起業応援セミナー」を開催し、起業をめざす方、起業家や各種支援機関の関係者約100人が参加しました。

基調講演には、実績日本一の飲食ビジネス総合コンサルタント 宇井 義行 氏を迎え、『起業成功のイロハ～飲食業に学ぶビジネス成功の基本ルール』と題し、ビジネスを成功に導くための経営者の心構え、ビジネスモデルの重要性等をお話いただきました。続いて明石市の起業家による起業体験談、金融機関による資金調達についての講演が行われるとともに、フリータイムでは参加者と支援機関の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



“明石ものづくり企業紹介サイト” 登録企業のご紹介

“明石ものづくり企業紹介サイト”は、明石市域内を中心に地域産業を牽引する企業の情報を広く市内外に発信し、販路開拓や業務提携等にお役立ていただくために開設しています。

— 今回のご紹介は「株式会社 生野」様です —

社名 **株式会社 生野**

本社所在地 〒674-0094 明石市二見町西二見660-11 TEL：078-943-4103 FAX：078-943-5237

E-mail：lei02715@nifty.com URL：http://homepage1-ikuno.life.coocan.jp

創業：昭和52年（1977年）4月

資本金：1000万円

従業員：9名

事業内容

塗床・防水・防食・雨漏検査・塗装工事の施工エキスパートです。

今年（2017年）で創立40周年を迎え、防水工事だけでなく、防食工事や外壁改修、塗床工事のエキスパートとして活躍しています。また、建築業の資格も取得し、マンションやビル等の大規模改修工事にも取り組んでいます。弊社は、超速硬化ウレタン吹付システムをいち早く導入しており、その技術を用いて防水・防食のみならず、塗床工事にまで展開しています。雨漏検査の事務局もしており、雨漏りの困ったに対応しております。

特に塗床工事は、平成10年に着手したのをかわきりに、工事を重ねて経験を積み、技術を磨くことによって、スーパー、飲食店、百貨店、あるいは宿泊施設や病院など年中無休のお客様に対して、独自の工法で営業を止めることなく施工することが出来ます。

この工法は、大手スーパー作業場にも採用していただいております。兵庫県より、平成25年度 成長期待企業にも認定されました。



超速硬化システムのマシン車



代表取締役 **生野 行利** 氏

経営理念

私達は「世の中に役立つ企業」を基にお客様の「困った」に対応すべく、社員一丸となって事業に取り組んでいます。又、皆様に愛される企業として日々努めています。

セールスポイント・ものづくりに対するこだわり

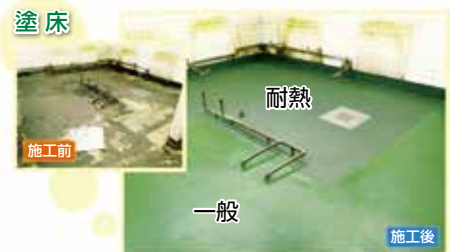
病院やスーパーなどの厨房床は、既存床材が剥がれ、そのせいで水が溜まり不衛生になるなど様々な問題があります。しかし、改修工事をしたいが営業をストップできない、何日も休めないといった問題を抱えています。そのようなお客様の困ったを解

消すべく、当社は、閉店後から開店までの時間で改修する

『**休まないで良い厨房床改修システムSS-5時間工法**』を確立しました。

この工法であれば、お客様の負担にならないよう当日の営業終了後から翌日の営業開始時間までに、耐薬品性・抗菌性・耐摩耗性・耐熱性に優れた安全で衛生的な床を提供できます。他社ができない1cmの水溜りも解消できます。施工中や完了後の臭い対策も万全です。

私達は、お客様のご依頼があれば、すぐに現地へ赴き、無料で現地調査をし、お客様の求めているものをお聞きします。その上で工法選定をおこない、施工を提案し、お客様のご要望にお応えしています。



塗床工事 施工例

今後の事業展開

全国的に塗床工事の専門業者が少ない中、いろいろな床に対応した専門工事業者として活動してまいります。重量物が走る床や帯電防止床、耐薬品性の床、直したいけど時間が無い床など、いろんな塗床工事に取り組んでいきます。そして、小規模の床工事にも対応致します。

塗床工事で弊社が持っているノウハウを広く皆様にアピールし、お客様の「困った」を解消すべく社会に貢献してまいります。